

1月 食育だより

2026年
ねん
宝
たから

あけましておめでとうございます

冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。これから3月にかけては、月日の流れを早く感じる時期だと昔から言われています。風邪やインフルエンザなども流行っています。体調管理をしっかりして、一日一日を大切に過ごしましょう。



今年はうま年！



うまのように野菜をたっぷり食べよう！



箸をうまく使いこなしてきれいに食べよう！



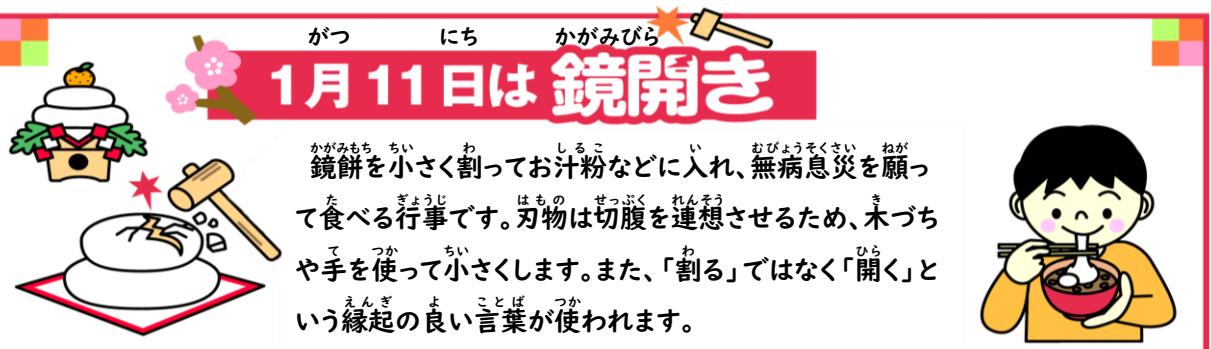
よく味わってうまいを感じよう！

お年玉はもちだった！？

お正月は、普段よりも日本の文化を感じる機会が多かったのではないかでしょうか。お正月には大人から子供へお年玉をわたすという風習があります。もともとは、「歳神様(年神様)」にお供えした「もち」を、歳神様からの贈り物として分け与えたことが始まりとされています。「年玉」とは「歳神様の魂」を意味します。



1月11日は鏡開き



鏡餅を小さく割ってお汁粉などに入れ、無病息災を願つて食べる行事です。刃物は切腹を連想させるため、木づちや手を使って小さくします。また、「割る」ではなく「開く」という縁起の良い言葉が使われます。

ごはん塾

まつおだいしょうがっこう ねんせい ねんせい たいしょう じゅく おこな
松尾台小学校の2年生と3年生を対象に「ごはん塾」を行

いました。県の食育事業のひとつで、「米」を通じて生産者等への感謝の心や食の大切さを学びます。

3年生の社会「市の様子と人々の暮らしのうつりかわり」で学ぶ「かまど」と「羽釜」を実際に使ってご飯を炊きます。人數分の米を計量し、米研ぎ、薪割りや火加減の調整までの工程を一人ひとりが体験しました。

炊きあがったご飯は給食時間にいただきました。ふたを開けた瞬間、ごはんの香りが教室中に広がり、子どもたちからは歓声が上がりました。



＼この羽釜で60人分炊くよ／



まきわり 新割にチャレンジ！



おかわり～

給食センター見学

～楊津小学校 1年生・3年生～

12月16日、楊津小学校の1年生と3年生が給食センターへ見学に来てくれました。初めて見る調理室に子どもたちは興味津々。1年生は調理室の様子をスケッチブックに描き、3年生は気づいたことを文章にまとめ、学びを深めています。お箸を使った豆つかみゲームでは先生も参加し、真剣勝負で戦いました。

